

Infomation

国土交通大臣表彰祝賀会

7月27日に、同法人が国土交通大臣のまちづくり功労者に選ばれたことを記念して、表彰祝賀会が開催されました。片山理事長は、「今後も皆さんの協力を得ながら、さらなる地域のために頑張っていきます。」とお礼を述べました。ご来賓の方をはじめ多数の関係者の方々にご参加をいただき、ありがとうございました。(事務局G)



表彰の報告とお礼を述べる片山理事長



高瀬まち・みち研究会

高瀬の本町商店会では、都市計画での商店街周辺への道路整備などの状況を踏まえ、店舗修景や空店舗対策など、今後の高瀬の町と道を考えようと会議を開催されています。この会議には、まちづくり推進部会も参加協力しております。7月からは、商店街の空き屋(談議処)に崇城大学の建築学科秋元サテライト研究室が開所したのをきっかけに、学生さんも参加され、高瀬の町並み保存や空き店舗の実態調査を行なっております。

(まちづくり推進部会)



7月15日に、サテライト研究室開所式の後、歓迎会が行なわれました。

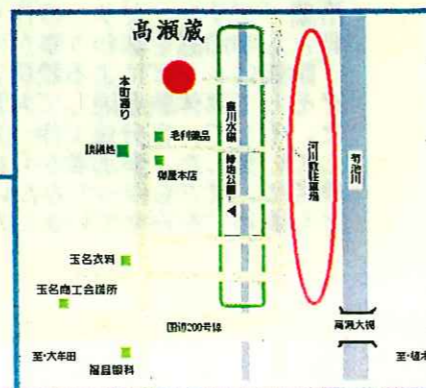


エントランス展示

花しょうぶまつりフォトコンテストの入選作品を展示中!

ボランティアスタッフ募集!

イベント開催時のボランティアスタッフを募集します。ボランティアとして参加したいと思う方は、高瀬蔵までお問合せください。



◆◆ 秋・おまつり ◆◆

日本の歌コンサート

「新圭子と歌う日本のうた」コンサートを6月24日多目的ホールにおいて実施しました。80歳とは思えない若々しいお姿、蔵いっぱい響き渡る歌声に180人の観客はうっとり。また童謡・唱歌の解説と歌の指導で会場のみなさんと歌う場面もあり、とてもなごやかな雰囲気の良いおコンサートでした。新圭子先生は、熊本県芸術功労者に選ばれて、9月にはリサイタルをされました。(音楽部会)



高瀬蔵ピアノコンクール



8月19日(土曜日)に高瀬蔵で平成音楽大学から2名の審査の先生を迎えて第二回高瀬蔵ピアノコンクールが開催されました。31名の出場者は、それぞれ日頃の練習の成果を存分に発揮し、素晴らしいコンクールになりました。(音楽部会)

《受賞者の喜びの声》

【小学生低学年の部】 金賞
呼野 阿美香(菊水西小学校2年)「とてもドキドキしたけど、がんばって演奏しました。賞状をもらってうれしかったです。練習して、もっと上手になりたいです。」

【小学校高学年の部】 金賞
中川 美紗希(河内小学校5年)「賞状がもらって嬉しかった。まさかおととして、も銀くらいかなと思ってた。だからうれしかった。だからがんばってやった。1回の高瀬蔵コンクールで賞状をもらって嬉しかった。2回目にチャレンジして賞状をもらった。とてもうれしかったです。ありがとうございました。」

レコードコンサート

6月16日、丁度、サッカーのワールドカップ開催中ということもあり、客足の心配をしておりましたところ、案の定やや寂しいレコードコンサートとなりましたが、お気に入りのレコードを持参された方には充分ご満足して頂けたと思いますし、普段とは違った雰囲気の中で、アナログのパチパチ音混じりの懐かしい音源を味わいながら、ゆっくりと流れる時間は一寸贅沢なひとときではなかったかと思えます。世知辛い世の中であればあるほど必要な時間のように感じました。(音楽部会)



アコースティックコンサート

7月30日、今回で4回目になるいな吉アコースティックLive。ビートルズやイーグルスや、60年~70年代の名曲をオリジナルアレンジで聴かせてくれ、オリジナル曲も交えて約2時間のLiveを聴かせてくれました。観客の年代層も、リアルタイムは世代と、若い世代とが交じって、幅広い年齢層でした。リラックスした雰囲気の中で懐かしさも新鮮なサウンドが鳴り響いていました。(音楽部会)

視察に行ってきました！



歩道の色合いにこの町のセンスを感じました



レトロな床屋喫茶です。上がギャラリーで地元の人達も立ち寄られてました。



森岳商店街の実に見やすい立派な看板でした

元祖姫松屋の具雑煮です。味は薄味で具の中の穴子は美味かったです。あ、ビールも



NPO法人高瀬蔵 第1回 商店会イベント部会 島原視察日帰り旅

(参加者：小川・徳永・猿渡公・清水・原)



湧き水のきれいに納得ですネ



鯉の泳ぐまの一角です。ゴミがまわって落ちてました



ラムネがうまそうでした

マニア向けの金物屋さんで町づくり指定店です。昔懐かしい便所の手洗い器には感動しました。



公子さんが研磨剤を買われてました。



デイケアの住宅型です。町(商店街)の真ん中にあり、高瀬にも1つあれば良いですね。



がんばれ高校生



ココにもあった！



ゆとり足湯は循環で少し濁ってました。風情は玉名の方に軍配です!! しかし扉風(扉)に効能ありとか書いてあったのでしっかり浸かりました。



地元の学生さんが作ったとのコトでした



車が通るって...?? 後で水路の幅を狭めたそうです。

高瀬マイスター倶楽部

【おいしいお茶の入れ方】

去る、7月15日(土)本年度第1回目となるお茶のおいしい入れ方教室が柳屋茶舗・猿渡さんと日本茶インストラクター協会熊本支部のご協力により開催されました。

今回は、特別企画として小学校の学級活動の一環として玉名町小学校一年生一クラスの児童と保護者47名の参加により実施された。講座のテーマは夏の飲み物「冷茶」のおいしい入れ方と言う事で、お茶の種類当て、また、冷茶の作り方など普段飲んでいる冷茶でも入れ方を少し変えるだけでおいしくなる事を、テキストと実技を交えて分かりやすく講義いただきました。蔵は、子供たちの賑やかさでつまれ、参加者からは『大変参考になりました』『お茶の奥深さを感じました』等の感想がでていました。高瀬蔵の活動が地域に根ざした物となるには、今回の企画は非常に意義がある企画ではなかったかと思えます。



【郷土の味を楽しむ】

9月9日(土)、初秋の郷土料理を味わう、が当会員大林さんと高瀬のご婦人の方の協力により催されました。地鶏を使った炊き込みご飯、にしめ、酢の物を中心に6品がテーブルに並べられ、参加者は、心を込めて作られた郷土の味に会話をはずませながら、箸を進めていました。

今回初めて参加された方も多く、「郷土の味を堪能しました。」「一つ一つ手づくりの温かい味を楽しみました。」等の感想をいただき、蔵全体が美味しい匂いに包まれた、温かい一日となりました。



【プロの技を体験】

8月20日(日)及び9月10日(日)の両日、菊水堂の山崎講師による、春夏秋冬のお菓子づくり教室が実施されました。8月20日のメニューは冷菓「プリン、ゼリーの作り方」、9月10日のメニューは黒糖饅頭、両日とも季節感を味わう事ができる講座の内容となりました。

講座はレシビによる説明と山崎さんの実演及び、ユーモアのあるトークそして実体験を通してお菓子作りのコツと楽しさを参加者は学びました。そして、自分達で作ったお菓子に早速舌鼓をうち、出来栄を確認していました。参加者からは「とても勉強になりました。」「今日の事を参考に、家でも作ってみたいと思います。」などの感想が出て、蔵は両日とも賑わいをみせていました。



(文化部会)

高瀬夜嘯・昼嘯



本年度第4夜(7月21日)は渡邊宣二氏の「高瀬にまつわる言い伝え」高瀬に言い伝えられている出来事を資料にて説明いただいた。これぞ地元ならではの内容に参加者も興味深く話しに聞き入っていました。特に、西南の役の裏話として紹介された(ある船乗りのこと)高瀬町船頭、渡辺満平の上申書は大変興味深いものがありました。

そして、今年度は初めての試みとして夏休み特別企画「親子で楽しむむかし話」を7月、8月に1回ずつ計2回実施し致しました。まず第1回目(7月29日)は吉田恵美氏を迎え「まち・むらに伝わるむかし話その1」として小岱山に伝わる「くろまめ長者」や南関に伝わる「ハナタレ小僧」の話などが紹介された。そして、第2回目(8月12日)は高木幹夫氏を迎え「まち・むらに伝わるむかし話その2」として海にまつわる話や島原地方に残るむかし話などが紹介され、2回合わせて親子51名の参加者は、日頃なかなか聞く事ができない話に興味を示し、大変満足している様子が伺えました。

第5夜(8月25日)は西川 攻氏の「四十九池神社の楽(がく)」四十九池神社の由来は天喜5年「1057年」小岱氏に敗れた大野一族の女性49名が追ってに追い詰められ、池に身を投じた事が名前の由来である事や奉納花火は300年の伝統がある事の話。

第6夜(9月8日)は熊本日日新聞編集局長で玉名市出身の高峰武氏の「ふるさととは近くにありて想うもの」～新聞の取材と編集からみた、ふるさとの再発見～地方には、独自の風景があり、そこに人々が暮らす事によって地方の風景と文化は守られている。また、地方の宝は自分達で見つける、あるいは作っていくしかない。何事も一からしか始まらないので、持続する事が大事との話をいただいた。参加者も多く、翌日の新聞にも掲載され、文化の発信地である高瀬蔵が改めて注目された夜嘯ではなかったかと思えます。